

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 1 6	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>A randomised trial of early warning signs relapse prevention training in the treatment of alcohol dependence          アルコール依存治療における、早期予兆による再発予防トレーニングのランダム化試験</p>	
執筆者	
Bennett GA, Withers J, Thomas PW, Higgins DS, Bailey J, Parry L, Davies E.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Addict Behav. 2005;30:1111-24.	
キーワード	
ランダム化試験、アルコール依存、早期予兆、再発予防	
要 旨	
<p>目的：          アルコール依存患者で再発経験のある人を対象に、初期の飲酒再発予兆による再発予防訓練 (Early Warning Signs Relapse Prevention Training(EWSRPT))の効果をみるためのランダム化試験を実施した。</p> <p>方法：          アルコール依存患者で再発経験(中央値:5回)のある 124 人の禁酒者に対し 6 週間の治療プログラムを実施した後、通常プログラム群と、プロトコルに従った 15 分の EWSRPT のセッションをプログラムに加えた群を比較した。評価指標は飲酒の自己申告、血液検査値(ガンマ GTP, GPT)、各種の質問紙による評価(Alcohol Problems Questionnaire, SF36, Brief symptom Inventory, Assessment of warning-signs of relapse)であった。</p> <p>結果：          飲酒の自己申告、血液検査値、質問紙による機能指標で有意な差が見られなかった。過度な飲酒、飲酒日の減少で EWSRPT を加えた群で有意な差が見られた。</p>	